

# 八王子活性化戦略 ～学生プロデュース 新しいインターンシップ～

## Hachioji Revitalization Strategy ～A new type of internship produced by the students～

西浦ゼミ SUCCESSion 班  
松尾優美 田中慶太 塩澤彰大 池田政行 齊藤歩美 隈部夏奈 勝部大我  
指導教員 西浦昭雄  
創価大学 経済学部 経済学科 西浦昭雄研究室

本プランでは、人材不足を抱える中小企業が新卒採用に取り組めない課題と、大企業志向により中小企業で働くことの魅力を知らない学生の傾向に着目し、これらの課題解決を図る。従来の企業主体のインターンシップではなく、学生のニーズを取り入れた新しい形の中小企業インターンシップを提案し、中小企業の人材不足解決を目指す。

キーワード：人材不足，新卒採用，大企業志向，魅力発信，インターンシップ

### I. テーマ設定の背景

近年、中小企業の課題として人材不足が挙げられ、65%の中小企業がこの問題に直面している。人材不足により廃業を余儀なくされる中小企業数は、増加傾向にあり、これは日本が取り組むべき喫緊の課題と言える。中小企業が市内企業全体の 99.3%を占める八王子市においても同様で、サイバーシルクロードにヒアリングを行った際、人材不足に陥っている中小企業は多いとお話を伺った。

八王子市は、『八王子市産業振興マスタープラン』において、就労環境の整備に努めており、若者の力を地域の産業に結びつけていく必要性を説いている。しかし、市内就職率は 1%程度である。そのため、学園都市という特性と、多くの企業が存在することの、結び付きを目指す取り組みを進めている。私たちは、中小企業の人材不足問題の解決策を探るため、33名の経営者に対しヒアリングを行った結果、中小企業と学生の接点創出が重要だと考えた。そこで、中小企業の魅力発信の場を創出し、「学生と中小企業が繋がり活気ある八王子」の実現に向けて、私たちは活動を開始した。

### II. 現状分析

#### A. 企業の課題：新卒採用の壁

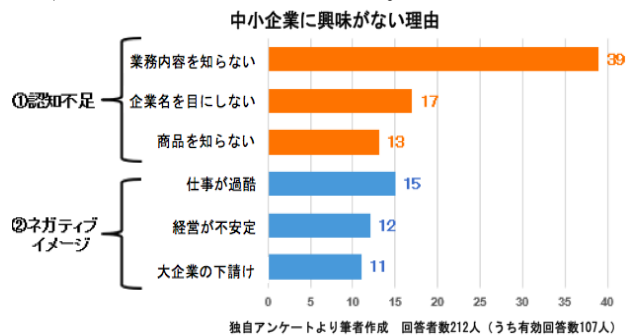
人材不足の中小企業では、特に若手人材が不足しており、この状況が続けば企業存続の危機に陥ってしまう。そのため、企業は若手確保のために新卒採用に取り組んでいる。具体的な方法としては、企業情報サイトへの求人情報の掲載、大学のキャリアセンター、ハローワークやジョブカフェ等を通じた企業紹介を行っている。しかし、中小企業の新卒採用は求人数に対して4分の1に留まる。

そこで、実態を把握すべく、33名の中小企業の

経営者にヒアリングをした。そこでは「採用活動を諦めかけている」「意欲の高い学生が来てくれない」という現状が明らかになった。また、実際には、企業情報サイトは高額な掲載費用のため利用が困難であり、大学のキャリアセンターでは中小企業を学生に紹介することに積極的ではない。さらに、ハローワークやジョブカフェは、学生が利用しない傾向にあった。以上から、中小企業は魅力を学生に発信する機会がなく、採用活動に思うように取り組めていない。

#### B. 学生の傾向：認知不足とイメージの先行

学生を見ると、近年、大企業志向にあり、中小企業の有効求人倍率及び学生の就業意識調査結果からも明らかである。そこで、学生が中小企業ではなく大企業を志向する理由を調査すべく、212名の学生に対し独自アンケートを行った。その結果、学生が中小企業に興味がない理由を、①認知不足、②ネガティブイメージに大別できた。



しかし、中小企業を訪問する中で、高い技術力による安定した経営や海外進出など、負のイメージを払拭し得る中小企業の魅力が見えてきた。さらに学

生アンケートの結果、働く上で求める条件として「社長・経営陣との距離が近い」「幅広く仕事に携われる」など多くが中小企業で実現される内容であった。

つまり、学生は働く上で求める条件が中小企業で満たされるにも関わらず、認知不足とネガティブなイメージによって、中小企業の働く魅力を知らないままに就職活動を行っていると言える。

### III. 私たちのプラン

#### A. プランの概要

私たちは、中小企業と学生を繋ぐインターンシップ、『Innovators Action』を提案する。このプランは、33名の経営者へのインタビューと、212名の学生アンケートを基に作り上げたものである。

本プランは、①学生からの提案&実施②社長同行で構成される。①学生からの提案&実施では、学生がインターンシップを通して発見した課題及び、経営者から与えられた課題に対して、解決策を作成する。さらに、解決策を経営者に提案し、フィードバックを踏まえて案を修正し、実施まで行うことを目指す。②社長同行では、学生が経営者の一日に密着する。普段、目にしない社長業務を経験する機会を提供する。本プランの特徴は、上記の2点を経営者と学生の1対1で行うことである。期間は約1カ月間、週1回の頻度とする。

#### B. プランの流れ

本プランの流れは以下の通りである。①まず、私たちが企業に企画を直接提案し、学生をSNSで公募する。そこでは、両者の要望を踏まえた上で、企業1社当たり1人の学生をマッチングする。次に、②事前打ち合わせとして、企業・学生・SUCCESSion 班の3者が本プランの日程や具体的内容を話し合い、実施に向けての調整を行う。その後、③インターンシップ実施という流れである。なお、私たちは事前打ち合わせとインターンシップ実施の際、同席することで両者の不安感や負担の軽減に努める。

概略図



#### C. プランの効果

インターンシップ導入により、経営者は自社の魅力を直接学生に発信できる場を獲得するだけでなく、学生の考え方に触れることができる。また、中小企業に対してネガティブなイメージを持つ学生も、イメージの変化が見込まれる。加えて、インターンシ

ップを通して、中小企業で働く魅力を学生が十分に感じることであれば、将来の選択肢としていく可能性も見込まれる。一方、私たちのプランでは高い成長意欲を持つ学生の参加が見込まれるため、主体的な学生からの提案を受けることができる。それらを経営に取り込むことで、イノベーションの創出も可能である。

### IV. 進捗状況

本プラン導入のため、市内の中小企業4社、はちおうじ未来塾（HFA）に提案を行い、評価及び助言を頂いた。全ての企業、団体から、導入を前向きに検討して頂いている。特にHFAでは、本プランが役員会議題として取り上げられ、3社での導入が決定した。既に、事前打ち合わせを終え、10月下旬から実施予定である。今後は、実施していく中で、参加学生・参加企業から意見を頂き、HFAご協力の下、内容の修正を図っていく。また、八王子市役所の産業政策課に本プランを提案し、内容に関する助言を頂いた。さらに、八王子市役所が運営する就職サイト「はちおうじ就職ナビ」に対し、現在実行中の結果をもとに本プランを提案させて頂く予定である。

### V. 今後の課題

現在の課題として、3点挙げられる。1点目は、参加学生の募集である。現在、SNSで広報を行っているが、プラン拡大に向けて、より多くの学生にアプローチする仕組みづくりが必要である。2点目に、中小企業への導入である。参加企業を増やし、多様な選択肢を学生に提供するために、中小企業との繋がりを拡充していく必要がある。3点目は、参加企業の選定である。以前、行政主導で中小企業においてインターンシップを行った際、学生が集まらず廃止したという話を伺った。この事例より、学生のニーズを取り込んだインターンシップを実施できる中小企業の選定が必要だと考える。

### VI. 行政への提案

プラン実現に向けて、行政へ2点提案する。1点目は、中小企業を紹介して頂くことである。現在HFAと提携しているが、行政と協働することで、さらなる参加企業の拡充に努めたい。これにより、学生に多様な選択肢を提供でき、幅広い学生に興味を持ってもらえると思う。こうして、より満足度の高いインターンシップの実施につなげていきたい。2点目に、私達の活動を企業及び学生に対して広報して頂くことである。現在、SNSを通して15名からの応募があったが、行政主催のイベントや広報誌等を通してさらなる周知を図ることで、より多くの参加者にアプローチできると考える。多くの中小企業と学生の参画により、本プランは活性化され、人材不足問題解決の一助となり得るだろう。